

ALESSI — AUTUMN/WINTER 2014

MACROECONOMICS AND THE APPLIED ARTS: A PAUSE FOR REFLECTION

In the jumble of thoughts and actions that deeply concern us in these rather challenging times, I have tended to interpret this magazine and its contents as a pause for reflection, one that will help us understand what fate contemporary society might have in store for the field once referred to as the Applied Arts; a pause to discern which direction should be followed by those who believe, like we do, that in any epoch and under any constellation, beauty can save the world.

This time, we are presenting “only” a dozen projects: not many compared to the quantity we have become accustomed to in recent collections. However, this group of objects is anything but lacking in notable innovations. Those innovations include the coffee maker by Trimarchi, the multipurpose container by Big Game, the baby-elephant shaped table hook by Gooris, Miriam Mirri’s honey dipper, the centrepiece in high-performance mortar by Galbusera as well as the one by Odile Decq in metal, plus the Campana brothers’ project in rattan...

... And we must not forget to mention the version of “Anna G.” sporting a crown, the corkscrew designed by Mendini in 1994 is celebrating its twentieth anniversary this year. It has become an icon of the carefree ‘90s and appearing in its lovable and magical new guise will help us choose, among the hundreds of projects we are working on, which ones will be best suited to the social and economic climate in 2015 and beyond.”

—Alberto Alessi

OFFICINA
ALESSI
ALESSI



「マクロ経済」と「応用美術」の関係を、再検証する。

厳しい状況下だからこそ、さまざまな意見が飛び交い、多様な活動が生まれる現代。そんななかで、かつて応用美術と呼ばれたものが、いかなるモノに進化し店先に並ぶべきだったのか。私は、このコレクションを通じて、人々がもう一度立ち止まってゆっくり考えるための良いきっかけになればと思っています。そうすることで、美しさが世界を救うと信じている私たちと考えを分かち合い、いかなる時代、状況においても、人々が正しく向かうべき方向がきっと見えてくると思うのです。

マリオ・トリマルキのエスプレッソメーカー、ビックゲームのマルチボックス、子象のかたちをしたフレデリック・グーリスのテーブルフック、ミリアム・ミリのハニーディッパー、オディール・デックヤルカ・ガルブセラのセンターピース新作、そしてカンパーナ兄弟のカゴ編みプロジェクト。今回、私たちが紹介するのは、“たった”十数件のプロジェクトです。しかし、私たちは新作だけに頼らずとも革新的な姿勢で一貫したコレクションを発表し続けています。

そして、1994年にアレッサンドロ・メンディーニがデザインし、今年で20周年を迎える、王冠をかぶったコルク抜き「Anna G」の存在も忘れてはなりません。のんびりとした雰囲気90年代のアイコンが、今回さらに愛らしく魅力的なルックスとなって再登場。何百とあるアレッシィのプロジェクトのなかから、現在、そして未来の社会や経済状況に相応しいアイテムをセレクトしました。

—アルベルト・アレッシィ





VIME

ヴィーメ

CAMPANA BROTHERS

カンパーナ兄弟

カンパーナ兄弟が1990代後半から取り組み始めたカゴ編みのプロジェクトからは、アレッシィが2012年に発表したランプシェード「Amanita」に代表されるような、各方面から注目を集める製品が生まれています。

「Vime」とはポルトガル語で「藤（とう）」を意味する言葉。古くから家具やバスケットに使われてきた素材も、一度カンパーナ兄弟の手にかかれば、また新しい表情を見せてくれます。「Amanita」に続いてアレッシィから発表するセンターピース「Vime」は、2015年の展開を予定しています。

——アルベルト・アレッシィ

● センターピース

素材：藤

ø 52 - h 23 cm ○ ¥35,000

カゴ編みシリーズの新しい取り組みとして、アレッシィから発表するセンターピース「Vime」。現代的な視点を加えることで、衰退しつつある手工芸の伝統を再発見するとともに、企業の高い機械技術でマンパワーをサポートしながら、こうした伝統工芸を産業構造のなかに引き入れることを目的としています。

——カンパーナ兄弟



ANNA G.

アンナG 20周年限定版

ALESSANDRO MENDINI

アレッサンドロ・メンディーニ

● ワインオープナー

素材：亜鉛合金、熱可塑性プラスチック（ハンドル）

真ちゅうにシルクスクリーン（ヘッド部分）

カラー：レッド、ホワイト

15 x 7 - h 29 cm ○ ¥14,000

今年コルク抜き「Anna G.」が生まれて20周年。近年のコレクションのなかでも特に象徴的な存在のアイテムの記念すべき年を祝って、オリジナルを手がけたアレッサンドロ・メンディーニが、2つの特別限定バージョンをデザインしました。

「Anna G.」という名前が、実はイタリア・ウンブリア州出身で、動物のモチーフを中心とした作品を手がけるデザイナーのアンナ・ジリから来ていることを知っている人は、さほど多くないでしょう。髪型、長い首、じっと見つめる視線、ダンスのような動き……。コルク抜きの形が、アンナ・ジリの特徴と似ていることに注目したアルベルト・アレッシィが、この名前を提案したのです。はじめは、大胆な舞台芸術を提案していたオスカール・シュレンマーが描く人形を意識していました。また、子どものときに、ダイニングで祖母がワインボトルを開ける姿を見ながら、頭を回し、腕を上げ下げすると、コルク栓が音を立ててボトルから飛び出る様子が、まるでバレエの基本動作のように見えていたことを思い出したのです。そんな理由から、

プロダクトを擬人化してみました。女性のバレリーナをドロイングしたつもりだったのですが、無意識のうちに、でも確実に、アンナ・ジリの姿を脳裏に描いていたのでしょう。この製品も今年で20周年。「Anna G.」という名前が、幸運をもたらしてくれたと言っても過言ではありません。Anna G.は、今年で同じく20周年のグローニンゲン美術館で展示されたのを皮切りに、世界中で展開されるようになり、ブランドの顔となるまでのアイテムに成長しました。この記念すべき年のために特別にデザインしたAnna G.には、民族舞踊のお面をかぶせてみました。これは、もしかしたらウンブリアに伝わる伝説のキャラクターや森の様子でしょうか？ もしかしたら、かのパウハウスの舞台から抜け出したものなのかもしれません。

—アレッサンドロ・メンディーニ



CARGO BOX

カーゴボックス

BIG GAME

ビッグゲーム

エルリック・ブティ、オーギュスタン・スコット・ドゥ・マルタンヴィル、グレゴワール・ジャンモノドの3人から成るビッグゲームは、スイス・ローザンヌのデザイン学校、ECALで教鞭を執る傍ら、プロのデザイナーとして活躍しています。彼らの豊かな才能とスイス的な精緻さに基づくデザインワークに、私は新たなアノニマスデザインの到来を感じさせてくれます。すでにWallpaper Design Award 2014のBest DIY賞とSwiss Design Awardを受賞していますが、製品としての発表はこれが初めてです。

——アルベルト・アレッシィ

● 多目的ボックス

素材：アクリル樹脂、木（ハンドル）
カラー：ホワイト、レッド、ブラック
30 x 14 - h 9 cm ○ ¥7,000

多目的ボックス「Cargo Box」は、スイスのデザインチーム、ビッグゲームがアレッシィで初めて手がけたプロダクトです。1950年代の工具入れというクラシックなアイテムの機能性に注目したもの。大工道具に限らず、靴のクリーニングセットやデスク周りの収納、また裁縫グッズなど、自宅、オフィスといった場所を問わず、さまざまな使い方が考えられる製品です。





LA TRAMA E L'ORDITO

ラ・タラマ・エ・ロルディート

LPWK - DESALL - LUCA GALBUSERA

LPWK、デサッル、ルカ・ガルブセラ

センターピース「La Trama e l'ordito」（イタリア語で「縦糸と横糸」の意味）は、ラウラ・ポリノーロとDesallがコーディネートをし、アレッシィとイタリアのセメント会社、イタルチェメンティが共同で行ったワークショップ「Concrete in Design」から生まれたデザインです。このワークショップでは、「i.deisgn Effix」という新しいモルタルを使って、私たちが日常的に慣れ親しんでいるコンクリートの新しい可能性を探ろうというものでした。

——アルベルト・アレッシィ

- センターピース
素材：i.deisgn Effix
カラー：レッド、ライトブルー
40 x 30 - h 12 cm ○ ¥50,000

「i.deisgn Effix」は、コンクリートと砂にファイバーグラスを混ぜ、アルカリやほかの添加物にも強いモルタルです。加工がしやすく、延性と耐性のバランスが取れた表面仕上げに積極的に取り組んできたアレッシィにとって、これまで以上にハイクオリティな効果をもたらしてくれる素材として注目しています。



photo credit | Leo Torri



TWIST AGAIN

ツイスト・アゲイン

ODILE DECQ

オディール・デック

オディール・デックは、アレッシィから発表するプロダクトの第2弾として、躍動的なフルーツボウル「Twist Again」をデザインしました。1枚のメタルシートをカットし、曲げることで、中央から外側に渦状に広がるようなダイナミックなフォルムをつくりあげています。緊張と流動とを大胆な発想で捉えた表現するデック自身の建築作品をコンパクトにしたような製品群が揃いました。

● フルーツボウル

素材：18/10ステンレススチール製

スチール製・エポキシ樹脂塗装（ブラック）

φ 29 - h 11.6 cm ○ 24000円（ステンレス）

○ 13,000円（ブラック）



photo credit | Studio 9010

ACACIA

アカシア

Miriam Mirri

ミリアム・ミッリ

2つの星形が隠された蜂の巣のようなハニカム構造の先端でハチミツをすくう軽量のハニーディッパー。先細りの柄と先端パーツを、絶妙なバランスで一つの形にまとめあげました。ハチミツを適量すくうだけでなく、別の容器に移し替えたり、混ぜたりするのも便利。ドリンクや料理、デザートに甘味づけなど、幅広い用途で使われるさまざまな粘度のハチミツに広く対応できるようにデザインしています。レストラン、一般家庭を問わず、自然から生まれたハチミツを楽しむありとあらゆるシーンで使っていただけたと思います。

—ミリアム・ミッリ

- ハニーディッパー
素材：18/10ステンレススチール製
16 x 2.5 cm ○ ¥6,000





photo credit | Matteo Cirenei



photo credit | Santi Caleca



OSSIDIANA

オッシディアーナ

MARIO TRIMARCHI

マリオ・トリマルキ

固い塊を削り出し、そのなかに隠された形を探し出す。そんな彫刻の在り方が、最近ずっと気になっています。円柱の塊から余分な要素を減らしていくうちに生まれたエスプレッソメーカーの形状。どことなく建築的な雰囲気も感じさせるその形は、開閉時に手にすっぽりと落ち着くようなものとなっています。これは、先史時代に人類が初めて使った道具として知られる燧石（すいせき）のように、元の素材から“引き算”をすることから生まれたかたちなのです。新しい角度から人間工学にアプローチしたことで、「Ossidiana」は時代を越える独創的なそのかたちを手に入れたのです。

——マリオ・トリマルキ

● エスプレッソメーカー

素材：アルミニウム（本体）、

熱可塑性樹脂（ハンドル、つまみ）

1 杯用 7 cl- ϕ 7.5-h 13.5 cm ○ ¥8,000

3 杯用 15 cl- ϕ 8.5-h 17.5 cm ○ ¥10,000

6 杯用 30 cl- ϕ 10-h 22.5 cm ○ ¥13,000

シシリア出身の建築家、マリオ・トリマルキは、物質が語りかける声に真剣に耳を傾けながら、エスプレッソメーカー「Ossidiana」をデザインしました。ほかのプロジェクト同様に、彼は記憶やイメージの断片からその形状を探し出しています。火山岩の一種である黒曜石は、古くからカフェモカ用のポットに使われていたものですが、「Ossidiana（イタリア語で“黒曜石”）」という名前は、そんな逸話を反映したものです。ランダムに削り取ったように見える光沢のあるアルミニウムボディは、実は人間工学に基づき設計されたもので、本体をひねりながら開閉するとき、手にしっかりとフィットするような使い勝手を考えたデザインになっています。



ENAMEL PAINT

エナメル・ペイント

CLAUDIA RAIMONDO

クラウディア・ライモンド

ここ数年のあいだ、私たちはクラウディア・ライモンドとともに、さまざまな仕上げ法についての研究を続けてきました。ラッカーとエナメルという、古来より使われてきた技術を研究し、現代的表現で再解釈した結果「エナメル・ペイント」が生まれました。

——アルベルト・アレッシィ

● JOY N.1
ボウル
ø 20.7 – h 8 cm ○ ¥18,000

● JOY N.11
センターピース
ø 37 – h 10.4 cm ○ ¥12,000

● JOY N.3
トレイ
ø 40 – h 2.3 cm ○ ¥15,000

素材：スチール（エポキシ樹脂 エナメル仕上げ）
カラー：ブルー、ポメグラナーテ

「skin of the object (物質の肌)」というテーマで、スチールの表面処理技術を熱心に研究するなかで、金属の表現域の可能性を追求した結果たどり着いた、カラーリサーチの新たな段階です。クラウディア・ライモンドの監修のもとに行われたこれらの取り組みは、これまで表現しきれなかった商品の魅力にも光をあてています。エポキシポリエステル粉体塗装で色づけすることで、敢えて光の反射を際立たせ、その半透明で輝きのある表情にさらなる魅力が加わっています。明るく、しかし深みのある色は、その昔、金を使った宝飾品に使われていたエナメルの色を意識しています。宝石が持つ美しい色彩と陰影の対比にも似た、独

特の風合いを持つ2つの色調の「Enamel Paint」が完成しました。「エナメル・ペイント・ブルー」は、金細工で伝統的に使われていた青を。「エナメル・ペイント・ポメグラナーテ」は、新鮮な果物からはじけたようなルビーレッドをそれぞれ表現しています。クラウディア・ライモンドは、このエナメル・ペイントを自身がデザインした「ジョイ」シリーズに応用し、センターピース「ジョイNo.1」、丸型バスケット「ジョイNo.11」、トレイ「ジョイNo.3」に、それぞれ新しいタイプが追加されました。環境に配慮し、塗料には非汚染、非中毒性の素材を使用しています。

MEDITERRANEO

メディテラネオ

EMMA SILVESTRIS

エマ・シルヴェストリス

エマ・シルヴェストリスが、水面下に広がる幻想的な世界をイメージしながら、2005年にデザインした「Mediterraneo」。メタルをカットしてから鋳造するという手法によりいち早く取り入れたシリーズとして、バリエーションも多く揃っています。今年、直径21cm、29cmの2サイズに加え、直径25cmのフルーツボウルがラインナップに追加し、用途に応じてさらに選びやすくなりました。

- フルーツホルダー

素材：18/10ステンレススチール製

カラー：ブラック、レッド、ホワイト

φ25-h 9.5 cm ○ ¥11,000

- フルーツボウル

素材：熱可塑性プラスチック

cl 260-φ25-h 9.3 cm ○ ¥6,000

- フルーツホルダー

素材：18/10ステンレススチール製、熱可塑性樹脂（ボウル）

cl 260-φ25-h 9.5 cm ○ ¥20,000



photo credit | Santi Caleca



photo credit | Studio 9010

JUMBO

ジャンボ

FREDERIC GOORIS WITH SEBASTIANO TOSI

フレデリック・グーリス、セバスティアノ・トシ

2010年にバッグホルダー「Minou（ミヌー）」をデザインしたフレデリック・グーリスが、玉乗りするゾウをモチーフにした新たなハンドバッグ用のテーブルフック「Jumbo」を発表しました。長くて、くると巻いたゾウの鼻が、テーブルの下でさまざまな形状、大きさのバッグをしっかりと支えてくれます。動物の形を応用して、製品に必要とされる機能性を導き出しています。

- バッグ用テーブルフック

素材：18/10ステンレススチール製

12 x 5 cm ○ ¥3,800

ECCO!

エッコ(新色)

MASSIMO MARIANI

マッシモ・マリアーニ

マッシモ・マリアーニが2013年に発表した「ecco!」に、「スーパーホワイト」と「スーパーブラック」2つの新色による特別仕上げが登場します。ナノテクノロジー技術によって表現されたきめ細やかな表面仕上げは、単なる色表現の域を超えて、モノの美しさをさらに際立たせています。

- フルーツホルダー

素材：スチール（エポキシ樹脂仕上げ）

カラー：スーパーホワイト、スーパーブラック

30.2 x 22 - h 11.5 cm ○ ¥19,000



ALESSI



LE PALLE PRESEPE

レ・パレ・プレセペ

LPWK, MARCELLO JORI

LPWK、マルチェロ・ジョーリ

● クリスマス用オーナメント

素材：吹きガラス、手作業による絵付け

Babbarenna 13 x 10 - h 12 cm ○ ¥3,000

Babbonatale ø 9 - h 12 cm ○ ¥3,000

Fioccodineve ø 9 cm ○ ¥3,000

Uffoguffo 10 x 9 cm ○ ¥3,000

2 Pcs set (B&B / F&U) ○ 各¥4,400

2012年にマルチェロ・ジョーリがデザインしたクリスマスオーナメント「Le Palle Presepe」に、新しいキャラクターが登場しました。クリスマスツリーの飾りに、キリストの降誕をモチーフとして取り入れています。前回のコレクション同様に、新作には直径9センチ（単品）と直径6センチ（2つセット）の2種類を用意し、多彩なクリスマスデコレーションが楽しめるようになっています。

Le Palle Presepeには、このほかに、ベビー・キリスト、聖母マリア、ヨセフ、ウシ、ロバ、天使、流れ星、三賢人、ヒツジ飼い、ヒツジなど、全部で12のシリーズが揃っています。

PRESEPE

プレセペ

LPWK - MASSIMO GIACON

LPWK、マッシモ・ジャコン

2007年に発表されて以来、「Presepe」は年々仲間が増え、コレクターやクリスマス好きな人々に大人気のアイテムとなっています。マッシモ・ジャコンのデザインによる2014年新作には、ヒツジ「チャオチャオ」、ヒツジ飼い「ネッロ・パストレルロ」、自慢のオーブンの前に立つ「ペッピーノ・パニーノ」、オルガン奏者「ジミー・メロディ」、小ザル「モンキー・マニー」、ラクダ「ダリオ・ドルメダリオ」、ヤシの木「パルミータ」の7体が追加されました。

● クリスマスフィギュア

素材：磁器、手作業による絵付け

Dario Dromedario & Palmitta 6.5 x 2 - h 5.5 cm / 10 x 10 - h 7.5 cm ○ ¥5,000

Jimmy Melody & Monkey Money 4.5 x 4.5 - h 5cm / 2 x 3 - h 4 cm ○ ¥5,000

Peppino Panino 7 x 6 - h 5 cm ○ ¥50,000

Nello Pastorello & Ciao Ciao 3.5 x 4 - h 5 cm / 3 x 2.5 - h 4 cm ○ ¥5,000





HAPPY SNOWTIME

ハッピー・スノータイム

LPWK – MASSIMO GIACON

LPWK、マッシモ・ジャコン

特に人気のクリスマスオーナメント用キャラクターを手がけるマッシモ・ジャコンが、今年のコレクションに新たなアイテムを追加しました。彼が手がけたのは、イタリアでクリスマス時期に食べるお菓子として知られる「パネットーネケーキ」用のプレート。「Happy Snowtime」は、サンタクロースのナタリーノとオルソン、そしてトナカイとクマが雪のなかで遊ぶ姿が印象的。また、「Christmas Spiral」は、ソリを引くナタリーノがらせん状に描かれています。直径32cmと大きさも十分なプレートは、パネットーネケーキのほか、タルトやパンドーロ、クリスマス料理などに最適。皿の表面は平らで、端も反り上がっていないので、皿の上で簡単にケーキがカットできます。ともに釉薬をかけた上に絵柄を転写。ケーキを温めなおしたいときは直接オープンにかけられ、食洗機の使用も可能です。

● クリスマス・クッキー・プレート

素材：磁器

φ 32 cm

Happy Snowtime ○ (日本未発売予定)

Christmas Spiral ○ (日本未発売予定)

ALICE IN WONDERLAND

不思議の国のアリス

LPWK – MASSIMO GIACON

LPWK、マッシモ・ジャコン

初めて抱く恐怖心や無意識な行動とどのように対峙し、克服していくか。すべてのルールが逆転する、何事も可能で、限界のない幻想的な世界。童話「不思議の国のアリス」には、さまざまに異なる解釈が存在しますが、そこにあるのは確実に今に通じる現実社会への暗喩であり、さり気なくも皮肉たっぷりの教訓が含まれています。

——ラウラ・ポリノーロ



● フィギュア

素材：磁器、手作業による絵付け

帽子屋とハートの女王

2.5 x 4.5 – h 5 cm / φ 3.5 – h 5 cm ○ ¥4,000

アリスと三月ウサギ

φ 3 – h 5 cm / 3 x 2.5 – h 6 cm ○ ¥4,000

グリム童話「赤ずきん」からインスピレーションを受けて発表した2013年のコレクションに続き、マッシモ・ジャコンは世界的に有名な童話「不思議の国のアリス」の魅力的な世界を展開します。コレクション「Le Fiabe (レ・フィアーベ)」は、小さなオブジェが語り部となって、もっとも慣れ親しまれた物語を現代に伝えています。「子ども向けのアイテムですが、大人も子どもと一緒にアレッシィの世界に浸って、遊んでもらいたいです」とアルベルト・アレッシィも考えています。

マッシモ・ジャコンは物語の4人の主要な登場人物「アリス」「三月ウサギ」「帽子屋」「ハートの女王」をデザイン。光沢のある白い磁器に手作業で色鮮やかに絵付けを行っています。「アリス/三月ウサギ」「帽子屋/ハートの女王」をそれぞれセットで販売します。

